

2025年2月7日 第3500回例会

於： 横須賀商工会議所



<点鐘・開会> 12:30 高橋 会長

<斉唱> 「君が代」「奉仕の理想」

<唱和> 「四つのテスト」

<ゲスト紹介> *米山奨学生 金 翰 旻 様

*青少年交換留学生 Lualy Rehen HOFER TURCATO さん

<ビジター紹介> *国際ロータリー第2780地区ガバナー

大和田園ロータリークラブ 佐々木 辰 郎 様

<誕生日祝> *上 林 茂 (S. 6.2.01) *木 村 一 郎 (S. 45.2.05)

*鈴木 隆 裕 (S. 45.2.06) *鈴木 康 仁 (S. 26.2.07)

*八 木 達 也 (S. 41.2.10) *齋 藤 隆 (S. 23.2.11)

*浅 葉 孝 己 (S. 29.2.13) *大 石 朗 (S. 30.2.21)

*江 口 浩 道 (S. 36.2.21) *Enora Rogers (S. 33.2.25)

各会員

<入会月祝> *小 沢 一 彦 *北 村 理和子 *高 橋 隆 一 *瀬 戸 映 男

*小保内 洋子 *萩原 英 恵

各会員

<新会員入会式> *井 上 智 史 会員



<会長報告> *ガバナー事務所から

・ロータリーレート変更のお知らせ 2月1日より1ドル157円⇒154円

・RYLAセミナーのご案内について

3月22日(土) 9:30 受付開始 10:00 開会式

23日(日) 15:30 解散

テーマ: 成長万博 場所: 神奈川県立スポーツセンター 藤沢市善行7-1-2

<米山奨学生へ奨学金授与> 会長より金 翰旻様へ

<青少年交換留学生へ小遣い授与> 会長より Lualy Rehen HOFER TURCATO さんへ

<委員長報告> *雑誌委員会 江口副委員長より『ロータリーの友』2月号の紹介

*出席委員会 角井副委員長より1月分出席報告 1月分平均出席率 66.99%

	会員数	出席対象者数	出席数(ZOOM出席数)	欠席数	メークアップ数	出席率
1月 6日	117名	101名	65名	36名	3名	67.33%
13日	117名	106名	67名(4名)	39名	6名	68.22%
20日	117名	106名	63名(1名)	43名	7名	65.42%
27日	118名	101名	64名(1名)	37名	5名	66.99%

*ローターアクト委員会 大野委員長

ローターアクト/インターアクト合同例会のご案内

・2月22日(土)10~13時 於: 三浦学苑高等学校 内容: ボードゲーム例会

・出席確認：2月14日まで

<幹事報告> *2025-26年度版 ロータリーの手帳申込みについて

<出席報告> *出席委員会 角井副委員長より2月7日の出席報告

会員数	出席対象者数	出席数(ZOOM出席数)	欠席数	メイクアップ数	出席率
118名	107名	79名(5名)	28名	2名	75.70%

メイクアップ：鈴木(孝)会員 チトワンRC出席

鈴木(豊)会員 RI会長エレクト歓迎晩餐会 出席

<ニコニコ報告>

・国際ロータリー第2780地区ガバナー 佐々木辰郎様

本日は3500回例会にお邪魔させて頂きました。宜しくお願ひ致します。

・三 役 米山奨学生 金 翰旻さん、青少年交換留学生 ルアリーさん、本日の例会もお楽しみください。

・梶 木、小山(暢)、比 護、鈴木(悦)、佐久間、齋藤(眞) 各会員

米山奨学生 金 翰旻さん、青少年交換留学生 Lualy Rehen HOFER TURCATO さん、ようこそお越しくださいました。例会をお楽しみください。

・三 役 国際ロータリー第2780地区ガバナー 佐々木辰郎様、ようこそ横須賀RCへお越し下さいました。本日は新会員の入会式もありバッジ授与ありがとうございます。例会もごゆっくりお楽しみ下さい。

・小林(颯)、角 井、前 田、小佐野、鈴木(悦)、齋藤(眞)、

藤 村、佐久間、長 尾、田 邊、齋藤(眞)、澤 田 各会員

国際ロータリー第2780地区ガバナー 佐々木辰郎様、ようこそお越し下さいました。最後までごゆっくりお過ごしください。

・木 村、八 木、齋藤(眞)、浅 葉、大 石、江 口 各会員 誕生日祝いとして

・高 橋、瀬 戸、小保内、萩 原 各会員 入会月祝いとして

・曾 我 会員 誕生日祝いとして(1月)

・三 役 森会員、本日の新会員卓話楽しみにしています。宜しくお願ひします。

・田 中、木 村、竹 株、荻 山、椿、江 口、杉 浦、加賀本、岩 崎、齋藤(眞)、

渡 辺、鷺 尾、松本(暢)、若麻績、徳 永、権 田、濱 田、澤 田、齋藤(眞)、植 田、小佐野、谷、根 岸、小保内、齋藤(眞)、萩 原、平 松、杵 渕、三 堀、八 木 各会員

本日は森会員の新会員卓話です。どんなエピソードが語られるのか楽しみですね。どうぞよろしくお願ひいたします。

・森 会員 本日新会員卓話を致します。よろしくお願ひ致します。

・三 役 新会員井上智史様、ご入会おめでとうございます。共にロータリーライフを楽しみましょう。

・柴 田、杉 浦、加賀本、新 倉、濱 田、三 井、

寺 田、小保内、齋藤(眞)、勝 見、澤 田 各会員

井上智史会員入会おめでとうございます。共にロータリーライフを楽しみましょう。

・井 上 会員 第3500回の例会おめでとうございます。本日入会させていただいた井上です。よろしくお願ひいたします。

・川 名 会員 職場体験学習、今年も多くの方々に世話になり本当にありがとうございました。また、担当の不手際によりご迷惑、失礼をおかけいたしました。大変申し訳ございません。今後共どうぞよろしくお願ひいたします。

・吉 田 会員 柴田会員、友人が大変お世話になりました。今後ともよろしくお願ひ致します。

・瀬 戸 会員 本日は所用あり。途中退席となります。よろしくお願ひいたします。

・石 田、加藤(眞)、大野(暢)、新 倉、小山(暢) 各会員 日本海側の大雪ほどではありませんが、寒い日が続き、石田会員の頭も寒そうですね。思わぬ災害も相次ぐ中、何事もなく過ごせる日々のありがたさに感謝したいものですね。

3500回の記念すべき例会に、私の新会員卓話を入れていただきありがとうございます。

私は、生まれは山梨ですが、大学は東京、それから米国、そして今は横須賀と様々な所で生活体験してきました、自分としては、体験から多くを学びました。また、常に真面目に一生懸命をモットーにやってきました。その結果は必ず誰かが見てくれると思っています。そして人生は一本のまっすぐな道のりではなく、右に左に紆余曲折して幅が広ければ広いほど、年取って振り返ってみた時、様々な記憶が蘇っていい人生だったと思えると思っています。失敗しても挫折しても、それで折れなければ経験のうちだと思ひ、今まで沢山の失敗を重ねてきましたが、その都度誰かが助けてくれ、そして人との出会いに恵まれ、人生悪くないなと思っています。今日は、私がやってきた事、体験して学んできた事を何処まで話せるか分かりませんが話していこうと思います。



私は昭和21年山梨県で生まれました。家は農業をやっており、子供のころは白いご飯は無くても、牛や山羊を飼っており、また蜂も育てていたのも、物のない時代でもひもじい思いはしませんでした。しかし、親の教育は厳しく、何事にも真面目に、一生懸命に、嘘をつくな、と育てられ、高校生の頃まで真つすぐ過ぎて人の意見が受け止めきれない性格でした。

子供時代はスポーツ少年で、小学校はソフトボール、中学は野球、高校はラグビーに熱中していました。高校時代ラグビーは15人制ですが、我々同級生が15人中11人おり、3年生の時だけ県内の高校でも強豪と言われ関東大会などでも上位に入りました。そんな3年生の時、先輩が法政大学に進学しており、大学の夏の菅平での合宿前のプレ合宿にわが校のラグビー部が招待され、夏休みに川崎の木月のグラウンドで5日間大学生と合同合宿をやることになりましたが、厳しいを通り越して死ぬ思いでした。3日目が終わった時点で食事が通らなくなり、当時はやっていたりポピタンDを飲んで何とか乗り切りました。でもその後は、どんなにつらい事があっても、当時のことを思ったら軽い事のように思え、心の支えになりました。

その後、大学に行くことになり、今の泉岳寺駅の近くで酒屋をしていた親戚のところへ居候することになりました。下宿代も払わないので暇があれば店の手伝いをしていました。

学生時代は、仲間ができて遊んだりしていても、時として自分の視野の狭さから仲間とやり合ってしまうことも度々あり、何とか自分の性格を変えたいと思ひ、街に出ていろいろな人と話してみようと思ひ、崖から飛び降りる覚悟で実行し、何か自分でも変わった感覚があり、女の子とも話ができるようになり、これも私のその後について大きな収穫でした。

大学4年生の時は学園紛争で時間があり、近くのホテルでバイトをしていました。パーティーなど人手が足りないときにボーイなどを派遣する配膳クラブという会社があり、バイトをしていたホテルでもよく利用していましたが、その配膳クラブの若社長から、ホテルの勤務がないときはうちの仕事を手伝ってくれないかと言われ、OKすると、私の住まい（親戚）から歩いて10分位で行ける、高輪にある「光輪倶楽部」を紹介され、行くとそこは元高松宮様のお住まいで高松宮様は奥の洋館にお住まいで、光輪閣は大きなお屋敷で庭も広く、大使、公使、官庁、大手企業、皇室などパーティー、午餐会、結婚式、宮家の食事会など頻繁に行われ、三笠宮やすこ様の食事会は定期的であり、私は専属のように入っていました。皇室のサービスは、白手袋をして、掌に水をつけて滑らない様にし、右手で取ったプレートを手で持ち替え、次のプレートを右手でとって二枚で配膳室に下げることで重ねて音がしないようにする“二枚下げ”と言う一般とは異なるサービスを行っていました。神宮外苑での首相の桜を見る会でのサービスもしたことがあります。また様々なホテルでのパーティーなども数多くあり、サンケイホールでの高校生の洋食マナーなどや、変わったところでは東京八重洲口のレストランが受ける地鎮祭に都内から埼玉、神奈川県など何か所も車に道具一式乗せて巡ったのも思い出されます。日本の景気が上向いて、いたるところにビルが建つ御膳立てをした気分でした。

た。この配膳クラブでの仕事をする中で、アップーな人達の立ち居振る舞いや服装など、何となく感じるものがあり、その後について参考になりました。

そして、卒業後の1970年、大阪万博が終わる頃の9月、アメリカに向けてAPLの客船プレジデント・ウイルソン号で旅立ちました。友達が、アメリカに住むなら着くまでにいろいろな人と出会える船が良いよ、とアドバイスしてくれたのです。二週間かけサンフランシスコに到着し、(途中ハワイで入国審査があり)ロスにフライトし、従兄に迎えてもらいアメリカの生活が始まります。

従兄の家ではこれがアメリカだという生活を体験しました。金曜日は従兄の仲間が集まり、わいわいさわぎながらポーカーをして、土曜日はカレッジフットボールをTV観戦、日曜日はプロのフットボールをTV観戦それにバスケットボールの観戦も入りバーベキューをしながらわいわいがやがやで楽しい時間でした。土曜日はTV観戦の後10時ごろから従兄たちと夜釣りに行きます。ロングビーチに近いレドンドビーチまで下り、突堤からイカリ型の針でカツオの群れをとらえるので掛かったら上げるまで一苦労です。しかしここは海底油田で魚を食べることはできないので、釣ったカツオを持って、来た道を引き返し、ロスを通り越して北のズマビーチまで行き、(夜中)プライベートビーチでカツオを切り身にして釣り始めるとポーチ(石鯛に似た魚)が入れ食いで釣れ、1時間ぐらいで退散し帰宅です。

ビザの維持には苦労しました。渡航するときはホテルの視察ということでB1(商用)ビザでしたがハワイ入国時にもらったのがB2(旅行者としての)ビザだったのを気にも留めず6か月のビザ更新でホテル視察の内容を書いてしまい、結果1か月のビザでした。ビザだけは何としても確保しておかなければとの思いで、メキシコシティに飛んで新たに6か月のビザをもらおうとしましたが、結果的に1か月となり最悪の事態でした。どうしようと思案していた時、フレズノにイミグレーションがあるから、行ってみたらとの声を掛けてもらい、朝4時に、行けども行けども真っ直ぐで途中眠くなるロスからサンフランシスコに向かう道路を車で4時間半かけてフレズノの移民局に9時に飛び込んで何とかビザ6か月をもらい安堵しました。

日本から金を送ってもらい、免許も取り、車で行動範囲が広がりアルバイトもいろいろやりました。それまでぶらぶらしていたので、仕事をするのが楽しくどこに行っても好意的に受け止められ、日本食のレストランの皿洗い、コック、レストランのバスボーイ等を体験しました。また、ロサンジェルスのパンケーキハウスにバスボーイとして入ったところ、1週間ぐらいしたら明日からワイシャツを着て来いと、そのオーナーから声を掛けられ、行くと今日からキャッシャーをやれとの事。暇なときは良かったのですが、昼時は混み始めるとラインナップする程の混みようで、コインのクォーター(25セント)が日本には無く頭に入っていないので、釣銭20セントを渡すと5セントを出され戸惑い、そんなことが何回かあると頭がこんがらがってしまい、三日目には首になり、参りました。

そうこうしているうち、またビザの更新も近づいてきて、何かしなければと思っていたら、ロスで1、2回会った人から、良かったらラスベガスに仕事で行かないかと声を掛けられ、話を聞いてみると、真珠貝を扱う会社で今までオハイオのシーワールドやブエナパークのディヤーパークで商売をしており、今度ラスベガスに100万ドルをかけてサーカスサーカスホテルに店舗を出すので手伝ってほしいとの事。社長に会ってみると、横浜から石油缶にホルマリン漬けた真珠貝を持って来た生島氏で、人の集まるところで水槽に入れた真珠貝を買ってもらい、実際にその場で真珠貝を開けて中から真珠を取り出すと、お客様が支払った金額の5、6倍の価値がある真珠が出てきて、客は喜んで、ペンダントやイヤリング、リングなどに加工して喜んでもらう商売で、今度はラスベガスに進出との事で、私も行くことにしました。

昭和パール in USAという会社で、夏のシーズンに合わせてオープン予定でしたが、当時様々なユニオンのストが起きており、夏のオープンに間に合わず、冬のクリスマスに間に合わせようとしたがこれもかなわず、1年もずれ込んだら資金的にも持たないとの事でカーペットは自分たちで敷いたり、お土産用の陳列台なども自力で設置して何とか間に合せようと努力するも、一人、二人と抜けていき、私も酷いときにはラスベガスからロスへ片道5百キロをとんぼ返りしたこともあります。そして、オープン、客は入りましたがバクチ場の客は一般のお店と違って苦戦を強いられました。そんな中、真珠貝の仕入れ先のロスから何度かキャンペーンガールを呼んでデモンストレーションをして売上の回復を図りました。

また日本人の観光客が増え始め、グランドキャニオンなどの観光事業もはじまりました。

同じころ、アイスクリームのバスキン・ロビンスが日本の不二家と提携しましたが、うちの会社で何度か販売キャンペーンをした子がバスキン・ロビンスの通訳になり、その子が、日本の不二家から研修に来た財務やトレーニング担当者らを、休みの日にラスベガスで休暇を楽しむために案内し、私がショーやカジノを案内したりしていました。そして、事情がありその子がバスキン・ロビンスの米国でのフランチャイズの権利をもらうことになり、その子からパートナーシップで31アイスクリームをやろうと声がかかり、私は資金を持ちに日本に帰ってきて、また戻る予定でした。

帰国してアメリカに再渡航するための費用稼ぎのため、新聞広告の金額が高い会社を選び面接に行くと、日東コテージという宿泊施設やゴルフ場など会員になると安い料金で利用できるレインボウクラブというレジャークラブでした。(今でいうリゾートトラストの先駆けのような会社です。) 会社説明時は40人程いましたが、1週間のガイダンスが終わると半分になり、1年後には我が支社では営業は私一人、総務に一人の状態でした。

半年も経つと私も契約0というわけにはいかず、力を入れて取り組み始めました。すでに会員であった築地魚河岸の仲買の親父さんを営業で回ると、なにかが上手く合うのかあまり説明しなくても契約に応じてもらえ、約束の日に行くと150万円がテーブルの上に置いてあり、拍子抜けする思いでした。営業は言葉ではなく心だなと思いました。また知り合いの仲間を紹介してもらい、その年は会社の賞金旅行で韓国にも行きました。

そんな中、会社で近海物を扱っているトヨセイという仲買人のお宅に良く行っておりました。社長は山梨の甲府出身、奥さんは青森の出身で子供がおらず、奥さんの姪っ子が来て手伝っているとの事。築地魚河岸市場に2区画持っており、日商400万円で、自宅は勝鬃橋を渡ったすぐの右手に塀で囲まれた日本家屋でよく行っていました。ある時、婿に来ないかと声を掛けていただいていたのですが、まだ、アメリカに行くつもりだったことと、その頃マグロ屋さんなどから夜の誘いで赤坂、六本木、代々木などに連れていかれ、それが面白かったこと、また朝早いことと水の冷たさにはなじめなかったこと、それから決定的な事として、私の勤める営業会社が遠くないうちに潰れる事が分かっており、仲買に入った場合、会員から責められることが考えられること、また、同じ頃、横須賀の親戚からいつまでも自由の身でないで、身を固めろと言われ、見合いの相手を紹介されており私も見合いをした事がないので興味本位で見合いしてそのまま蜘蛛の糸にがんじがらめになり、また、パン屋ならアイスクリームと関係もあり、31アイスクリームの店舗が運営できれば、アメリカにも顔向けができるかなとの思いもあり、見合いの方をOKしました。その相手が法塔ベーカリーの娘でした。でも今考えると、魚河岸の日商400万円の話はもったいなかったなとつくづく実感しております。

結婚してみると、パン工場はL字形をしており、生産工程は一方通行で機械と機械との間は人の手で運搬する前時代的な工場、合理的な生産工程は組めず、また設備、従業員、建物とどれも老朽化しており最悪の工場でした。小学校の給食13校、中学校のパン販売8校、幼稚園、病院への販売が主力でやっており、フル生産の時は夜までかかり、夏休み、春休みになるとほとんど仕事が無く、清掃など午前中で仕事が終わる状況が続いて、これでは潰れるよという私と女房の親との見解の相違で間に入った女房は苦勞しました。

何とか給食事業から撤退したいと思っていたところ、材料屋から軽井沢の浅野屋の浅野さんを紹介され、夏の軽井沢の浅野塾の勉強会に参加して、売れているパン屋の人間と一緒に製造など切磋琢磨して、私も店舗を作りパン販売をやる方向で検討を進め、決断しました。

親の反対を押し切って学校給食と学校販売パンの製造から撤退して、根岸にベーカリーレストラン「カフェドクルー」を立ち上げました。横須賀には無い素晴らしい店舗、商品でしたが、余りにも時代を先取りしすぎてお客様が付いてこれず苦戦しました。

それでも、新しい店舗のお陰で、全国の名の売れた市販パンのオーナーたちと知り合い、ドイツのマイスター制度を日本でも取り入れようと、ジャパン・ベッカーマイスター協会の設立に参画することができ、特に浅野さん、ポンパドールの三藤さんなども親しくなり、また、製粉会社、材料メーカー、油脂会社などの名のある技術者とも懇意になりパン業界では顔を広めることができました。それから様々な情報が入るようになり、これは大きな力になりました。

でもカフェドクルーの売り上げは相変わらず厳しいままでしたが、そんな時、思いもよらず、親しいパン・コンサルタントからタレントの堂本剛が横浜でコンサート公演を行うにあたり、会場で販売するグッズ先を探していると連絡があり、弊社に決定し、我が社のエンドリパンが半年間に渡るコンサート期間中一日約三千個近く売れ、大いに助かりました。また横須賀のカレーフェスでは、平塚のパン屋さんが出店の挨拶をしてくれ、当日見に行くと、3時頃にもかかわらず列をなしているのを見てすぐカレー部会にも入会しました。ちょうど私も参加している中央会の食品産業協議会で、海老名の蔵元が何とか商品化したい、と検討していた醸造時に出る吟醸ぬかを使って海軍カレーパンを造ったところ、モチモチ感があり、全国各地のご当地パンを集めた「第一回全国ご当地パン祭り」に出品したところ海軍カレーパンがグランプリを獲得、この時も作れど作れど間に合わず大ヒットして大いに助かりました。これらは知り合いなどから声を掛けていただき、

またカフェドクルーの店舗があったお陰と思っています。また信金を変える時にも助けをいただき、本当にいろいろな人に助けられ、感謝感謝です。

結婚してパン組合の運営にも積極的に出るようにしました。横須賀の湘南パン組合の理事長、県製菓衛生師試験問題委員、県パン協同組合連合会の会長、県技能検定推進協議会の会長、全国パン協同組合連合会理事、県銘菓選定委員となり、県の小麦指定銘柄協議会でパン用小麦は西のかおり、うどん用小麦は農林1号などを選定し、また県産小麦の育成に秦野の農家と筑波大学で開発したユメシホウという小麦を使って県内では初めてのパン用小麦の育成に取り組みました。しかし収穫した5トンの原麦が製粉会社で挽かれると4トンになり、輸入小麦と価格を比較すると、高級輸入小麦1袋25kgが4,200円、県産小麦が8,000円で開きがあり、その当時6次産業化で政府からの補助が出るものと期待していたのに農家に行ってしまう我々には何もなく、止めざるを得なくなりました。このままでかまわない

叙勲に関しては、このように、県に関わる様々な仕事をして来たことが認められ令和元年の春の叙勲旭日双光章授与に結び付いたのではないのかなと思っています。また県知事表彰（産業経済振興功労）を事前に授与されていたのもあると思います。

叙勲は、食品の場合は農水省が所管庁で授与は農水省で行われ、その後バスに分乗して皇居に向かい、燕尾服の職員に案内され、春秋の間（長さ約100メートル、左右の壁には春、秋の絵画が描かれており、正月、天皇陛下など皇室の皆様がお立ちになるテラスの後ろ側の部屋）に招かれ、令和元年なので新天皇陛下のお言葉を賜り、その後バスに分乗した20名程のグループで記念撮影が行われ、その後皇居に別れを告げ農水省に戻り解散でした。

以上駆け足で半生を語ってきましたが、肝心のロータリークラブについて語るができず、また残念なのは連れ合いがあまりにも早く亡くなってしまった事です。でもやりたい事をやってきて、それぞれの時代に様々な出来事があり、人にも恵まれ人生良かったのかなと思っています。

ご清聴ありがとうございました。

<閉会・点鐘> 13:30 高橋 会長

週報担当 秋 葉 菜保子